

「平成28年度 ふくしまから はじめよう。学力向上のための『つなぐ教育』推進事業」の推進地域の取組

拠点校名	金山町立金山中学校
推進協力校名	金山町立金山小学校 金山町立横田小学校

奥会津金山学びの18年

取組の内容

1 「つなぐ教育」と「奥会津金山学びの18年」のねらい

「つなぐ教育」のねらい

- 学校と家庭、地域が連携し、児童生徒の学習習慣・生活習慣の確立と学力の向上を図る取組を推進する。

「奥会津金山学びの18年」のねらい

- ① 保・小・中・高での18年間における連続した教育の充実と、地域の教育力の再生を図り、将来を担う人材を育成する。
- ② 子どもの発達段階におけるキャッチフレーズに含まれる実践事項を明確にする。

2 小中連携

(1) 小中合同授業研究会の開催

- ① 第1回授業研究会：金山町立横田小学校

小学校1年生と小学校6年生の国語の授業を参観した。授業終了後は町内の全教職員による「ワークショップ型協議会」を行った。小学校と中学校における授業の進め方に対する意見交換も積極的に行われた。協議会終了後は、福島県教育センター宍戸和宏指導主事より、「活用型」の授業づくりについて指導をいただいた。



- ② 第2回授業研究会：金山町立金山中学校

数学、社会、英語の研究授業を行い、研究協議を行った。研究協議終了後、リーフレット「奥会津金山学びの18年」の作成に向けて、町内全教職員を4つの班に分けて協議を行った。小学校と中学校の学習内容の系統性の薄い項目も見つかり、系統的に指導していくことの重要性を再確認することができた。



(2) 出前授業の実施

- ① 中学校の教員が小学校に出向いての授業（理科）

次年度、中学校に入学予定の児童に対して、金山小学校、横田小学校それぞれの学校で、小学校の学習内容の発展的な内容の授業を行った。児童は、中学校での学習に関心を高めることができた。また、参加した小学校教員は、学習内容の系統性を理解することができた。



- ② 中学校の教員が小学校に出向いての授業（食育）

中学校に勤務する栄養技師が、金山小学校で2回、横田小学校で3回、TTで授業を行った。栄養素に関する専門的な内容を、わかりやすく説明するとともに、給食の大切さを理解させることができた。小中9年間の計画的な食育指導の重要性を理解することができた。



- ③ 小学校の教員が中学校に出向いての授業（道徳・国語）
小学校教員のきめ細かな指導技術の有効性を中学校教員が再確認することができた。小学校教員は、小学校と中学校の学習内容の系統性を理解することができた。



3 その他の連携

(1) 中学校と高等学校との連携

中学校2年生が、地元の川口高校を訪問し、高校の説明を受けた。実際に高校の授業を受けたり部活動を体験したりすることで、地元高校の理解を深めることができた。参加した中学校の教員も、中学校と高校の学習内容の系統性を理解することができた。



(2) 横田小学校と鮫川村立青生野小学校との連携

テレビ会議システムを活用し、小規模校同士の児童が、お互いの意見を交換することで、多様な考えに気づき、多面的な見方・考え方を深めることができた。



(3) 地域との連携1（沼沢湖水まつりへの参加）

地域の行事である、「沼沢湖水まつり」にボランティアとして参加した。会場のゴミ拾いや会場準備、「灯籠」作成等、様々な場面で地域の方々と交流することができた。地域の方々や来訪者から感謝の言葉や、町役場担当者からのねぎらいの言葉を聞いて、生徒一人一人の自己有用感を高めることができた。



(4) 地域との連携2（一人暮らしの老人宅の除雪）

町の社会福祉協議会と連携し、一人暮らしの高齢者の自宅の除雪作業を行った。除雪終了後は、高齢者や地域の方々と交流を深め、人から感謝されることの喜びを実感することができた。



(5) 中学校と保育園との連携

中学生が保育所を訪問し、雪像づくりの手伝いや紙芝居の読み聞かせを行った。

4 家庭との連携

(1) 地域連携講演会の実施

箱根駅伝ランナーの高橋賢人氏（会津教育事務所 小学校体育専門アドバイザー）を講師に迎え、小学生、中学生、教職員、保護者を対象に講演会を行った。

(2) リーフレット「奥会津金山学びの18年」の作成

保育所、小学校、中学校、高等学校の学習時間や家庭での支援についてまとめ、各家庭へ配布し、学校と家庭が一体となって学習に取り組めるようにした。

成果（○）と課題（●）

- 校種間の連携を深めることで、保育所、小学校、中学校、高等学校での18年間の系統的な指導の重要性を教職員が理解することができた。
- 小中合同授業研究会では、小学校と中学校の学習内容の系統性を理解できた。
- 保育所、高校、地域との連携を深めることで、学校等が地域の方々に支えられていることを理解することができた。また、地域との信頼関係を築くことができた。
- 授業の改善に向けては、全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、町全体の課題として計画的に授業改善に取り組むよう努めなければならない。
- 教職員相互の信頼関係を更に深め、計画的に各種取組を行う必要がある。

金山町の教育目標

「郷土を担う心豊かな人間の育成」

ふるさと金山町の自然、文化、行事、地域の人に触れる等の活動を計画的に体験させ、金山町の良さを知り、金山町に誇りを持つ児童・生徒を育てます。

学校と家庭・地域が連携し、児童・生徒の学習習慣、生活習慣の確立と学力の向上を、「つなぐ教育」で推進します。

段階

キャッチフレーズ

目標

重視したい実践事項

乳幼児

じょうぶな
こどもになろう

- 1 金山のよさ、雪国のよさ
- 2 子育ての中心となる親の姿
(家庭のしつけの再確認と実践)
- 3 町外に向けた子育てPR

- 睡眠(早寝・早起き)
- 食事(特に朝食)
- 遊び(一人遊びからの脱却)
- 愛情(親からのスキンシップ)

小学生

学ぶ喜びを持つ
小学生になろう

- 1 睡眠、食事、運動の生活習慣
- 2 ふるさとに触れる体験の拡大
- 3 遊びの時代から学習の時代への
転換、各種の学ぶ喜びの味わい

- 家庭での学びの喜び
(家族同士で 一人で)
- 学校での学びの喜び
(先生とのふれあいの中で
自分と違う仲間、集団で)
- 自然の中での学びの喜び
(自然のやさしさと 厳しさ
ふるさとのよさ)

中学生

チャレンジする
中学生になろう

- 1 自己の課題から逃避しない
頑張り
- 2 地域社会とのふれあいを通
して発見される生き抜く力
- 3 多様な社会性の重視

- 自己決定(依存症の解消)
- 自己責任(逃避の防止)
- 底力の発揮
- 進路(第一次の人生選択)

高校生

感謝される
高校生になろう

- 1 川口高校の魅力発見と発信
- 2 金山町の地域理解と地域
活動への参加
- 3 金山PR大使としての活動

- 地域へのとけこみと地域理解
- 地域に飛び込んだ活動
- 地域への貢献
- 存在感と有用感の体得

奥会津金山 学びの18年



金山町では、保・小・中・高での連続した教育の充実と地域教育力の再生により、将来を担う人材の育成を18年間通して行います。

川口高校



【教育目標】
「一人ひとりが光り輝く主人公」

- ① 学力の向上
- ② 進路目標の実現
- ③ 基本的な生活習慣の確立
- ④ 健全な心と体の育成

金山中学校



【目指す生徒像】
「主体的に学習に取り組む生徒」

- ① 教師の指導力の向上
- ② 家庭学習の習慣化
- ③ 各種コンテストの実施
- ④ 積極的な生徒指導の推進

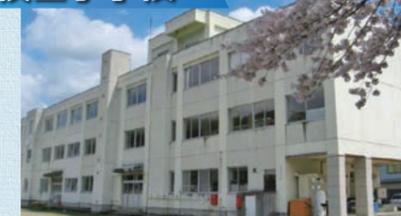
金山小学校



【目指す児童像】
「ともに学び合いながら確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を持ったこども」

- ① 各種調査に基づく授業づくりと基礎学力の定着
- ② 読書活動の充実と読書習慣の育成
- ③ 家庭学習の個別化と習慣化を図る指導
- ④ 家庭と連携した望ましい生活習慣の育成

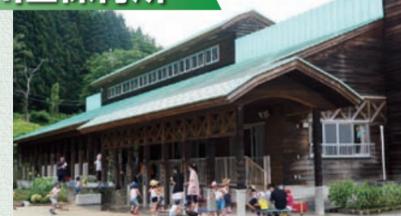
横田小学校



【目指す児童像】
「学ぶ意欲を持ち、主体的に学習に取り組む子ども」

- ① 自分の考えや思いを表現できる力の育成
- ② 確かな学力をはぐくむ授業づくり
- ③ 学力の定着を図る学習評価の充実
- ④ 国際化・情報化に対応した指導

川口保育所



【目指す子ども像】
「豊かな人間性を持った子ども」

- ① 明るく元気な子
- ② 思いやりのある子
- ③ 考える子
- ④ がんばれる子

横田保育所



【目指す子ども像】
「豊かな人間性を持った子ども」

- ① 明るく元気な子
- ② 思いやりのある子
- ③ 考える子
- ④ がんばれる子

支え合いの町、奥会津金山町



規則正しい生活と家庭学習等のポイント

	保 育 所	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中 学 校	高 等 学 校	
生活リズム	睡眠、風呂、食事、外遊び等の生活リズムを確立する。	早寝・早起き・朝ごはん(睡眠時間の確保、規則正しい生活リズム)を習慣づける。					
あいさつ	元気に「あいさつ」ができるようにする。	相手の目を見て、元気な「あいさつ」ができるようにする。		相手より先に「あいさつ」ができるようにする。	時と場に応じた「あいさつ」ができるようにする。	時と場に応じた「あいさつ」、相手に応じた「あいさつ」ができるようにする。	
睡眠時間	10時間以上	9時間以上(午後9時までには就寝)			8時間以上	7時間以上	
メディアとの関わり (テレビ・ゲーム・スマホ等)	テレビ等を見る時間を決める。	①時間を決める。 ②家族でルールを決める。 ③ネット機器にはフィルタリングを設定する。			午後8時までの利用(就寝の1時間前)	午後9時までの利用	適切なSNSの利用
学習時間	①1日の出来事をたくさん話す。 ②子どもが興味を持ったことに関心を示す。	2年生 30分以上 1年生 20分以上	4年生 50分以上 3年生 40分以上	6年生 70分以上 5年生 60分以上	1年生 90分以上 2・3年生 120分以上 ※3年生 180分以上 (部活引退後)	平日 休日 1年生 2時間 4時間 2年生 3時間 5時間 3年生 4時間 6時間 ※3年生(部活引退後) 6時間 10時間	
家庭学習内容	①1日の生活で、楽しかったことを聞く。 ②絵本等の読み聞かせをする。	①国語・算数の宿題+音読 ②作文、日記	①国語・算数の宿題+音読 ②自主学習 ③作文、日記		①各教科からの宿題 ②自主学習ノート(1日1ページ以上) ※3年生は学力補充教材	①各教科からの宿題 ②進路実現に向けての自主学習ノート	

学校等における基礎学力と基礎体力の向上への取組

	保 育 所	小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中 学 校	高 等 学 校
授業等への準備	保育士の指示で、次の活動にスムーズに取り組むことができる。	先生等の指示で、時計を見て行動できる。	自分で、時計を見て行動できる。	次の行動を考えて行動できる。	休み時間中に、次の授業の準備を行う。	チャイムtoチャイム予習・復習の習慣化
言語活動	人との会話を楽しみ、相手に伝えるように話す工夫をする。人の話を聞いたり、身近な文字に触れたりして、言語への興味を広げる。	①ていねいな言葉で話すことができる。 ②人の話を最後まで聞くことができる。		①相手に合わせた言葉で話すことができる。 ②人の話を受け入れて自分の考えを話すことができる。	①自分の考えをしっかり持つことができる。 ②多様な考え方を共有することができる。	①自分の考えを適切に表現して相手に伝えることができる。 ②相手の考えを理解して、適切に行動できる。 ③グループで話したことをまとめることができる。
体力向上	朝のお集まりでかけっこをする。外遊びをする。裸足で生活する。	朝や業間に3分間走に取り組む。 (3分間で走る距離について、児童それぞれが自己目標を設定し、目標達成に向けて走る。)			①部活動前に10分間走を行う。 ②冬期間にパワーアップタイムに取り組む。	体育の授業で毎時間、体づくり運動を実施する。

奥会津金山 学びの18年

